



デバイスへの接続の設定

- [デバイスのインバンド管理について \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用したデバイスのインバンド管理の設定 \(2 ページ\)](#)
- [GUI を使用したデバイスのインバンド管理のトラブルシューティング \(3 ページ\)](#)

デバイスのインバンド管理について

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (Cisco APIC) は、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) ファブリックを通過する各テナントのインバンド内のデバイスを管理するメカニズムを提供します。この設定オプションでは、インフラテナントと管理テナント内でのルーティングを可能にするためにデバイスで使用される管理 IP アドレスを必要とすることなく、デバイスの管理接続が実現します。



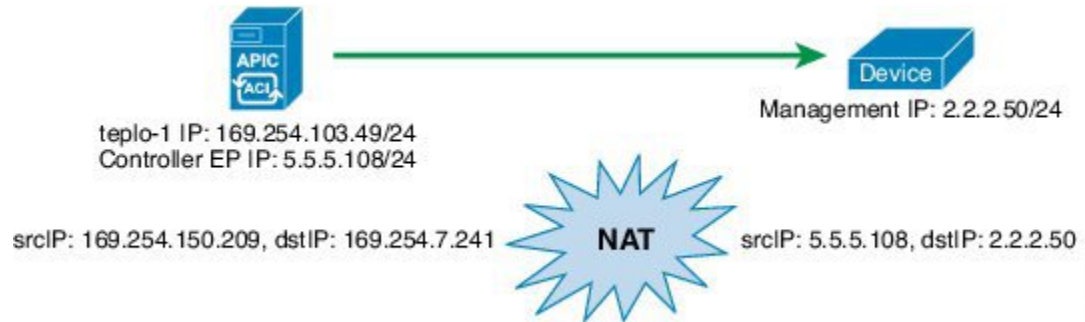
(注) この機能は、Cisco APIC およびファブリック ノードのインバンド管理とは別のものです。デバイスのインバンドを管理するには、ファブリックのインバンド管理は必要ありません。

Cisco APIC とデバイス間のインバンド管理通信は、Cisco APIC に一意の IP アドレスを設定することで可能になります。この IP アドレスはコントローラエンドポイントと呼ばれています。これらの IP アドレスは実際には Cisco APIC インターフェイスに設定するのではなく、代わりにネットワーク アドレス変換 (NAT) と共に使用してデバイスとの管理通信を確立します。Cisco APIC が使用する NAT アドレスは Cisco APIC によって自動的に選択され、169.254.0.0/16 のアドレス範囲内に収まります。

また、各デバイス管理 IP アドレスは変換後の IP アドレスとして Cisco APIC に提示されます。この変換後のアドレスを、マップされたホストアドレスと呼びます。

次の図に、Cisco APIC とデバイス間のアドレス変換を示します。

図 1: Cisco APIC とデバイス間のネットワーク アドレス変換



3494 15

GUI を使用したデバイスのインバンド管理の設定

GUI を使用してデバイスにインバンド管理を設定することができます。

- ステップ 1 メニュー バーで、[Tenants] > [All Tenants] の順に選択します。
- ステップ 2 [Work] ペインで、テナントの名前をダブルクリックします。
- ステップ 3 [Navigation] ウィンドウで、**Tenant *tenant_name*** > **Services** > **L4-L7** > **Devices** を選択します。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[Actions] > [Create L4-L7 Devices] の順に選択します。
- ステップ 5 [Create L4-L7 Devices] ダイアログボックスで、下記で指定している項目を除き、必要に応じてフィールドに入力します。
 - a) [APIC to Device Management Connectivity] オプション ボタンに [In-Band] を選択します。
 - b) [EPG] ドロップダウン リストで、[Create Management EPG] を選択します。
- ステップ 6 [Create Management EPG] ダイアログボックスで、下記で指定している項目を除き、必要に応じてフィールドに入力します。
 - a) [Application Profile] ドロップダウン リストで、EPG を配置する既存のアプリケーション プロファイルを選択します。必要に応じて新しいアプリケーション プロファイルを作成するには、[Create Application Profile] を選択します。
 新しいアプリケーション プロファイルを作成する場合は、[EPG] セクションと [Contracts] セクションは空白のままにします。
 - b) [Name] フィールドに、管理 EPG の名前を入力します。
 - c) [Bridge Domain] ドロップダウン リストで、ドメインを選択します。
 - d) [Domains] で、ドメイン プロファイルを追加します。
 - e) [Reserved IP addresses for APICs] セクションで、[+] をクリックして新しい IP アドレス プールを作成します。
- ステップ 7 [Create IP Address Pool] ダイアログボックスで、すべてのフィールドに入力し、[OK] をクリックします。
 IP アドレス プールは、コントローラのエンドポイントアドレスを定義します。プール内の IP アドレスは、デバイスが Application Policy Infrastructure Controller (APIC) の IP アドレスと見なす IP アドレスです。

コントローラのエンドポイントに定義したアドレス範囲が、デバイスに定義した管理IPアドレスと同じサブネットに含まれていない場合は、デバイスにネクストホップゲートウェイを提供する管理EPGブリッジドメインの下にサブネットを定義して、コントローラのエンドポイントに到達するようにする必要があります。

ステップ 8 [Create Management EPG] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。
これで、管理 EPG のドメイン名が設定されました。

ステップ 9 [Create L4-L7 Devices] ダイアログボックスで、デバイスのセットアップを実行します。インターフェイスの設定に管理インターフェイスを必ず含めてください。

GUI を使用したデバイスのインバンド管理のトラブルシューティング

既存のエンドポイントグループ (EPG) をデバイスの管理 EPG として選択した場合は、管理 IP アドレスプールとコントローラ管理ポリシーを手動で追加する必要があります。GUI を使用してこれらを追加することができます。

ステップ 1 メニューバーで、[Tenants] > [All Tenants] の順に選択します。

ステップ 2 [Work] ペインで、テナントの名前をダブルクリックします。

ステップ 3 [Navigation] ペインで、[tenant_name] > [Application Profiles] > [application_profile_name] > [Application EPGs] > [EPG_name] > [L4/L7 IP Address Pool] の順に選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[Actions] > [Create Address Pool] の順に選択します。

ステップ 5 [Create IP Address Pool] ダイアログボックスで、必要に応じてフィールドに入力します。
これで、管理 IP プールが追加されます。

ステップ 6 [Navigation] ウィンドウで、Tenant *tenant_name* > Services > L4-L7 > Inband Management Configuration for L4-L7 devices を選択します。

ステップ 7 [Work] ペインの [Controller Management Policies] セクションで、[+] をクリックし、次のようにフィールドに入力します。

- a) [Private Networks] ドロップダウンリストで、プライベートネットワークを選択します。
- b) [Address Pool] ドロップダウンで、作成したばかりのプールを選択します。

ステップ 8 [Update] をクリックします。

これで、コントローラ管理ポリシーが追加されます。
